

警戒種

カロライナツユクサ

-大豆畑への侵入が危惧される雑草-

同定のカギ

- ・在来のツユクサに葉の形が似ている
- ・3枚の花びらがすべて淡い水色



左:カロライナツユクサ、右:ツユクサ

形態・特徴

ツユクサ科ツユクサ属の一年生で、インド～バングラデシュ原産の帰化植物。

日本では2006年頃より西日本で発生が確認されている。

幼植物はツユクサと形態が似ているが、花卉の大きさと色が違い、ツユクサに比べて花卉は小さく、また色も淡いため、開花期以降の判別は容易である。

発生生態

気温20℃以上で発芽し、適温は30℃である。

出芽は、九州の場合に5～9月まで長期にわたるが、7月に大豆を播種した場合、出芽のピークは8月中旬までのため、その間防除を徹底する。

また、10cm程度の土壌深度からも出芽するため、播種後土壌処理除草剤の効果は低い(但し、除草剤成分としてはアラクロールが有効)。

開花は短日で促進され、9月上旬から開花・結実して、開花後3～4週目には種子が形成されて落下する。当年内での発生は見られない。



左:カロライナツユクサ、右:ツユクサ



仏炎苞内に形成された種子

雑草害

主に北部九州の畑作(大豆)圃場あるいは畦畔でまん延している。

大豆畑では圃場内でのまん延により収穫不能となるケースもある。

1個体が圃場に侵入すると、生育した個体に作られる種子は5,000～15,000粒であり、そのうちの約20%が翌年に発生する。



収穫前の大豆圃場にまん延したカロライナツユクサ



畦畔に繁茂するカロライナツユクサ

防除のポイント

トラクターやコンバイン等の機械作業、あるいは水系で種子が移動し拡散している可能性が高い。水田輪作地帯では地域全体に急速に拡散することが懸念されるため、少数でも見つけたらすぐに防除する。

他のツユクサ類と同様に、茎の節から根を出す性質があるため、抜き取った個体を畦畔などに放置しておくとも節から発根して活着する。畦畔でも、草刈り機で刈り取った個体の茎から発根して活着するため、除草剤での防除が最も有効である。

カロライナツユクサ

Ver.3

お問い合わせ

国立大学法人宮崎大学
農学部附属フィールドセンター
松尾光弘
〒889-2192
宮崎県宮崎市学園木花台西1-1
0985-58-7579
mmatsuo@cc.miyazaki-u.ac.jp

大分県農林水産研究指導センター 水田農業グループ
〒872-0103
大分県宇佐市大字北宇佐65
0978-37-1160

(国研)農研機構
kusa-daizu@naro.affrc.go.jp

Commelina caroliniana Walter

防除技術

大豆バサグラン液剤とアタックショット乳剤の生育期茎葉処理と中耕培土の体系防除が基本

播種後から8月中旬まで防除を続ける

下表のように大豆の播種後、カロライナツユクサが3葉期に到達する度に生育期茎葉処理除草剤で防除し、2剤の間に中耕培土を実施する。また、体系防除で残草した場合には非選択性除草剤であるプリグロックスLやバスタ液剤で防除する。

表 カロライナツユクサの防除体系(北部九州・7月中旬播種・条間75cm)

時期	大豆	カロライナツユクサ	防除	タイミング (目安)
7月 中	播種	発生始	←播種後土壌処理除草剤 ラクサー乳剤 (500-600ml/10a)	播種後出芽前
7月 下	2葉期	3葉期	←茎葉処理① 大豆バサグラン液剤 (150ml/10a)	播種後約2週間
7月 上	3葉期		←中耕培土1回	茎葉処理① の3日後～
8月 中		後発3葉期 発生ピーク終	←茎葉処理② アタックショット乳剤 (50ml/10a)	お盆前～盆明け
8月 下	開花期			



茎葉処理①

茎葉処理②

侵入初期での防除が最も重要

図 処理時のカロライナツユクサと大豆の様子

カロライナツユクサ侵入初期の圃場では、圃場の出入り口や畦畔際等で発生がみられる。早期発見と手取りや除草剤の散布等で防除することが、最も効果的かつ低コストである。

除草剤情報

除草剤の使用にあたっては、ラベルをよく読み使用方法を遵守すること。

使用場所		除草剤	薬量 (ml/10a)	処理方法・時期
大豆圃場内	大豆の上から処理可能	アタックショット乳剤	50	大豆の2葉期～開花前、収穫45日前まで (但し、カロライナツユクサ3葉期まで)
		大豆バサグラン液剤	150	大豆の2葉期～開花前、収穫45日前まで (但し、カロライナツユクサ3葉期まで)
	大豆にかからないように処理	プリグロックスL	1,000	畦間処理、収穫3日前まで (雑草の生育期～草丈30cm以下まで)
		バスタ液剤	500	畦間株間処理、収穫28日前まで (雑草生育期、株間処理は大豆の5葉期以降)
水田畦畔	プリグロックスL	1,000	雑草生育期	
	バスタ液剤	500 ～1,000	収穫7日前まで (雑草生育期、草丈30cm以下まで)	

※本パンフレットは、農林水産省委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発」の成果に基づいて作成されました。

カロライナツユクサ

2019.11
作成版

まん延を防止するために